

<b>区分</b>	専門分野	<b>単位</b>	2単位
<b>科目名</b>	地域・在宅看護論実習	<b>時間数</b>	90時間
<b>講師名</b>	専任教員	<b>履修学年</b>	3年次
<b>概要</b>	地域を生活の場としてとらえ、そこに暮らす人々の特性を理解し、その人らしい生活を支えるために必要な継続性について考える能力を養う。また、地域包括ケアシステムにおけるチームの一員としての看護の位置づけと役割を学ぶ。		
<b>学習目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活の場としての地域の特徴が理解できる</li> <li>2. 地域で生活する人々の生活上のニーズと健康上のニーズが理解できる</li> <li>3. その人らしい生活を継続するために必要な社会資源について理解できる</li> <li>4. 地域で生活する人々を支えるための多職種連携・協働が理解できる</li> <li>5. 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割が理解できる</li> </ol>		
<b>授業内容（実習内容）</b>			
<p>実習場所： 函館市内訪問看護ステーション、函館市・北斗市・七飯町地域包括支援センター 市立函館病院（人工腎センター・患者サポートセンター） 函館市内デイケアセンター</p> <p>実習方法： 3週間の中で実習を行う。</p> <p>地域・在宅看護論オリエンテーション（2h）</p> <p>訪問看護ステーション（24h）、地域包括支援センター（16h）では指導者と行動をともにし、業務の見学や訪問への同行、指導のもとで看護実践を行なう。</p> <p>デイケアセンター（16h）・人工腎センター（16h）では療養者とのコミュニケーションを通し、在宅療養生活を理解する。</p> <p>患者サポートセンター（8h）では業務の見学を通し、多職種連携・協働について理解する。</p> <p>最終日にメンバーでGW（8h）を行ない知識の共有を図る。</p> <p>実習内容： 別紙参照</p>			
<b>使用教科書・教材・参考書</b>			
<p>ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア</p> <p>ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術</p> <p>～在宅医療をはじめの方へ～ 訪問看護活用ガイド 改訂版</p> <p>介護保険と高齢者福祉の手引き 函館市</p>			
<b>成績評価の方法</b>			
出席状況、実習目標の達成度、実習姿勢、記録物等による総合評価			
<b>備考</b>			
<p>実習準備・オリエンテーションを実習開始前に行う。</p> <p>実習前に課題レポートを提出する。</p> <p>実習期間中は、自己の健康管理に十分留意する。</p>			